

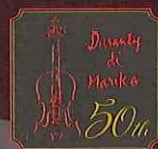
花巻市文化会館開館50周年記念

千住 真理子

Mariko Senju

ヴァイオリン

花巻スペシャル
コンサート



【Program】

- ・我が母の教え給いし歌 (ドヴォルザーク/クライスラー編)
- ・歌の翼に (メンデルスゾーン)
- ・坂道の歌 (千住明)
- ・andante ～母・千住文子に捧ぐ～ (千住明) ほか

【出演】

千住真理子(ヴァイオリン)／山中惇史(ピアノ) スペシャルゲスト：千住明

神楽：大迫高校神楽部

合唱：花巻地区高校生合唱団・花巻中学校吹奏楽部

デビュー 50年を迎えた千住真理子さん、同じく開館して50年になる文化会館。お互いの50年をお祝いしてのコンサートです。真理子さんの実兄で作曲家の千住明さんをスペシャルゲストに迎え、お二人のトークや明さん指揮による市内中高生の合唱、お二人と一緒に神楽の鑑賞など、「花巻」だけのプログラムです。

2025年11月30日 日 14:00 開演
13:30 開場
花巻市文化会館 大ホール

【全席指定】一般：4,500円、高校生：500円（いずれも当日500円増し）中学生以下：無料

※未就学児入場不可〔9月20日午前10時発売〕

車いすをご利用の方はチケット購入前に文化会館へご連絡ください

【プレイガイド】花巻市文化会館/なはんプラザ/正時堂
伊藤精/砂田屋石鳥谷店/佐々長醸造
チケットぴあ



Pコード：307-794

主催：花巻市 後援：めんこいテレビ・IBC岩手放送

お問合せ：花巻市文化会館（花巻市若葉町三丁目16番22号）☎0198-24-6511



山中 惇史(ピアノ)

©TakafumiUeno



千住真理子

ヴァイオリン

花巻スペシャル
コンサート

Profile

千住 真理子 Mariko Senju (ヴァイオリン)

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。

1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。

2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。

2021年「蛍の光〜ピースフル・メロディ」、2022年「ボエジー」、2023年山田洋次監督作品「こんにちは、母さん」のサウンドトラックに参加。また千住明のプロデュースによるアルバム「ARIAS」、2024年はデビュー当時の音源も収録した『ベスト&レア』アルバムをリリース。2025年はデビュー50周年を迎え全国で演奏会を行う。春にはデビューアルバムと同じくCD「メンデルスゾーン&チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲」を発売。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」（時事通信社、文藝春秋社文春文庫）「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」（いずれも時事通信社）「ヴァイオリニスト 20の哲学」「続ける力」（ヤマハミュージックメディア）母との共著「母と娘の協奏曲」（時事通信社）「命の往復書簡2011〜2013」（文藝春秋社）「千住家、母娘の往復書簡」（文藝春秋社文春文庫）など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ <https://marikosenju.com/>

©笹口悦民



千住 明 Akira Senju (作曲家)

1960年東京生まれ。幼稚舎より慶應義塾で学び、慶應義塾大学工学部を経て、東京藝術大学作曲科卒業。同大学院首席修了。修了作品「EDEN」（1989）は史上8人目の東京藝術大学買上となり、同大学美術館に永久保存されている。代表作にピアノ協奏曲「宿命」（ドラマ「砂の器」劇中テーマ曲）、「四季」、「日本交響詩」、詩篇交響曲「源氏物語」、オペラ「隅田川」「万葉集」「滝の白糸」、「カレンダー組曲」等。

ドラマ「ほんまもん」「風林火山」「VIVANT」、映画「愛を乞うひと」「黄泉がえり」「追憶」「こんにちは、母さん」、アニメ「機動戦士Vガンダム」「鋼の錬金術師 FULLMETAL ALCHEMIST」、NHK「日本 映像の20世紀」「ループル美術館」NHKスペシャル「世紀を越えて」「平成史」「新・ドキュメント太平洋戦争」、TV「アイアンシェフ」、CM「アサヒ スーパードライ」、中国ミュージカル「白夜行」、ゲーム「TRIANGLE STRATEGY」等、音楽担当作品は数多い。日本アカデミー賞優秀音楽賞4回受賞等受賞歴多数。2019年には、天皇陛下御即位三十年記念式典にて天皇皇后両陛下による著作歌曲「歌声の響」の編曲とピアノを担当。三浦大知、千住真理子と共に記念演奏を披露。

東京藝術大学を中心とした音楽と美術の制作グループ「SENJU LAB」主宰。

東京藝術大学客員教授、大阪音楽大学客員教授。

URL：<https://akirasenju.com/>



©TakafumiUeno

山中 惇史

Atsushi Yamanaka

(ピアノ、作曲・編曲)

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。

後に同大学器楽専攻ピアノ科卒業。

第26回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位受賞。

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。後に同大学器楽専攻ピアノ科卒業。2020年に高橋優介とのピアノデュオ「176」（アンセットシス）を結成。

自らの編曲によりオーケストラ作品の演奏に挑み『レスピーギ／ローマ三部作』をメインに演奏会を開催、同時にカワイ出版より楽譜出版、レコーディングもされた。2023年2月には2作目となるアルバム『ショパン－旅路－』を日本コロムビアより発売。

X(旧Twitter)：@ginyamagin

Instagram：@yamanaka.atsushi